

令和5年(2023年)12月1日
子ども文教委員会資料
教育委員会事務局子ども教育施設課

第七中学校校舎等整備基本構想・基本計画の策定について

1 第七中学校校舎等整備基本構想・基本計画(案)説明会の実施結果
別添1のとおり

2 第七中学校校舎等整備基本構想・基本計画
別添2のとおり

3 今後の予定

令和5年度～令和7年度	基本設計・実施設計
令和8年度～令和10年度	新校舎整備工事
令和11年度中	新校舎供用開始

第七中学校校舎等整備基本構想・基本計画（案）に係る説明会等の実施結果について

1 開催日時及び会場、参加人数

日 時	会 場	参加人数
11月7日(火)18時30分から20時00分まで	江古田区民活動センター	35人
11月11日(土)10時00分から11時30分まで	沼袋区民活動センター	5人

2 説明会等で寄せられた主な質問・意見について

	意見の概要	回答
1	校庭の広さはどうなるのか。	校庭は狭くなる。現在の校庭は約4,600㎡、新校舎は約4,250㎡を想定している。
2	北向きの校舎となるため、教室等が明るくないのではないか。光が入りやすい階段の設計など採光について検討しているのか。	文部科学省の公表資料では、近年の暑さのこともあり北向き教室を好事例として紹介しているものもある。最近の空調機器、照明機器は性能が高く、北向きでも適正な温度、明るさを保持できると考えている。区内で校舎棟が東向きの学校があるが、問題ないと聞いている。採光のことを含め、諸室の配置については、今後の設計作業の中でさらに検討していく。
3	校舎棟2階、3階のバルコニーには壁を設置するのか。バルコニーは生徒が経常的に利用する事を想定しているのか。騒がしくなることを懸念。	運用方法は学校によって異なるが、区内でバルコニーを導入した新築校の例からみて、3階以上のバルコニーを経常的に生徒が利用することは想定していない。バルコニーは庇の役割（物が落下するのを防止）や避難通路の役割のほか、イベント時の観覧席としての利用も想定している。

4	<p>屋上プールの直射日光の対策として、ひさし又は屋根を設置することを想定してるのか。</p>	<p>他区の小学校で採用事例のある遮熱膜での対応を想定している。材質は東京ドームの天井屋根のようなもので、折りたたみ式であり、暑さ対策、寒さ対策、視線対策の効果もあると考えている。 他の改築校でも導入を検討している。</p>
5	<p>敷地北側の防災倉庫・屋外トイレ・屋外倉庫の設置場所は確定なのか。必要なものなのか。サイズはどのようなものを想定しているのか。上に乗って近隣宅を覗かれるおそれがある。トイレに不審者が隠れやすく防犯上の心配がある。</p>	<p>倉庫等の位置については、今後設計作業の中で、近隣住民の意見も参考にして検討していく。 第七中学校は避難所ということもあり、また、地域開放時のことから必要と考えている。サイズは現行と同等のものを想定している。</p>
6	<p>正門の位置は月極駐車場の前だが問題ないか。また、水害ハザードマップでは、正門付近は緑色（水深0.5m～1.0m）だが問題ないか。</p>	<p>水害ハザードマップのことも含め、今後設計作業の中で検討していく。</p>
7	<p>正門付近の敷地東側道路について、7時30分から9時00分まで通行規制があるが、緊急車両の通り道であり、新青梅街道に近い。安全性に問題はないか。</p>	<p>敷地東側道路の北部に消防署があることは把握している。そのことも踏まえ、今後設計作業の中で検討していく。</p>
8	<p>現校舎や改築後の校舎配置による騒音に関するデータ検証をしているのか。騒音対策、視線対策は設備的にどのようなものを考えているか。改築後の南側校舎側に音を逃がすしかけ、例えば南側校舎棟の一部を開けて風が抜けるようにできないか。</p>	<p>騒音に関する検証はこれからである。騒音対策、視線対策は、課題として認識している。区内の新築校の例では、①曇りガラス、②目隠しフェンス、音を吸収するフェンス、③植栽帯などを整備している。その他の方法も含め、今後設計作業の中で検討していく。</p>
9	<p>部活動の時間は定めているのか。騒々しくて辛い。テレワークをしているが部活動が終わる18時00分以降に打合せをするようにしている。</p>	<p>部活動の時間帯は学校の運用による。</p>

10	<p>人工芝は、環境への負荷が大きいので、利便性だけでなく長期的な目線で何がよいか考えてほしい。</p> <p>今年の7月、外気温が35℃くらいのとき、人工芝導入校の人工芝で計測したところ表面温度が62℃になり、天然芝導入校の天然芝で計測したところ38℃だった。</p> <p>天然芝の導入時には、東京都から補助金が交付されるとも聞いている。天然芝と人工芝において、維持管理費等も踏まえた費用対効果の検証はしているのか。</p>	<p>人工芝の教育的なメリットが大きいいため、人工芝の導入について上位計画である小中学校施設整備計画で定めている。</p> <p>メリットとして①雨天後すぐに使用できる。②近隣に砂が飛ばない。③下駄箱スペースがなくなり、その分教室等の教育活動スペースへ転用できる。④履き替え時の滞留がなくなり感染症対策に効果がある。等、教育活動上に有利な点が多いと考えている。</p> <p>一方、天然芝は養生期間が必要で教育活動の出来ない期間が生じてしまう。人工芝のメリット、デメリットや環境への負荷も踏まえ今後検討していく。</p>
11	<p>災害時、人工芝は火を使いにくいのではないか。</p>	<p>災害時には人工芝が傷むことよりも、当然に避難所の活動を優先する。人工芝の上に防災シートを敷いて使用することを想定している。</p>
12	<p>子どもが野球をしている。人工芝だと固いため、部活動時に足を痛めやすい。環境への負荷も踏まえ長い目で見て、人工芝が本当にいいのか検討してほしい。</p>	<p>人工芝先行導入校の野球部ではトレーニングシューズを使用している。</p> <p>野球部のほか、小学校では少年野球チームが活動しているところもあるが、足を痛めやすい等の話は特に聞いていない。</p> <p>区としては、環境負荷が少ない充填剤が不要のノンフィルタイプのもので、クッション性が高い人工芝の導入を想定している。また、人工芝の導入は、一足制と併せて考えている。これにより、下駄箱スペースが不要となり、生徒が滞留することなく、その分のスペースを教育活動スペースに充てられるというメリットがある。</p>
13	<p>工事は何時から何時まで実施するのか。工事車両の動線はどうなっているのか。工事のことについて、いつ説明があるのか。</p>	<p>工事車両動線についての具体的なことは、今後の設計作業の中で検討していく。</p> <p>区内の改築工事の例では、工事をする日は原則として土日祝を除く平日のみであり、時間帯は8時から18時まで。状況により、9時開始にしていたこともある。</p> <p>工事開始前に説明会を開催する予定である。</p>

14	<p>現校舎にはアスベストが使用されているのか。解体工事時、そのアスベストが飛散するのではないか。</p>	<p>現校舎は古いので、アスベストは使用されていると考えられるが、封じ込めており、現状、建物は安全に利用できる。解体工事時は、法令等規制に則ってきちんと調査し適正な飛散防止措置をした上で作業することとされている。</p>
15	<p>代替校舎となる旧上高田小学校にはいつから通うことになるのか。年度当初からとの認識でよいか。通学に特化した保護者説明会を開催すべきだ。</p>	<p>旧上高田小学校の供用開始予定時期は令和8年4月からである。通学方法や通学にかかる交通費負担のことなどに特化した保護者説明会の開催については、検討する。</p>
16	<p>代替校舎は旧上高田小学校になるとのことだが、旧上高田小学校の階層や設備についてのことも含めて生徒や保護者に対する説明会はあるのか。改築工事を部分的に実施するなど、代替校舎に通うという負荷がかかる生徒達に配慮して、何か検討できることはないか。</p>	<p>旧上高田小学校は小学校仕様なので、男子トイレの小便器の高さや手洗い流しの高さなどを中学生用に改修する必要があると考えている。令和6年度に設計、令和7年度に改修工事を予定している。施設の規模として、現第七中学校校舎と比べると延床面積は約 6,000 m²から約 13,000 m²になり、一定の教育活動のスペースは確保できている。校庭の広さは約 4,600 m²から約 3,800 m²になる。分割して工事をする場合、工事期間が長くなり、生徒や近隣住民にも負担が増大することから、区としては、学校全体の改築工事を選択しているところである。</p>
17	<p>今後の改築に向けた進捗状況はどのように確認できるのか。意見、質問がどのように対応されたか確認できる機会はあるか。</p>	<p>主なものとして2つある。一つは、改築推進委員会を通じて議論した内容を、区のホームページ等でご覧いただける。もう一つは、基本設計の案が出来た段階で、説明会を開催する。現時点では、令和6年秋頃を予定している。</p>
18	<p>フェンスの設置等のことも含め、今後、近隣住民が意見を述べたり、質問する機会があるのか。</p>	<p>意見等については、今後の説明会の場でお聞きする。また、電話等でも質問をお受けしている。</p>

第七中学校新校舎等整備
基本構想・基本計画

令和 5 年(2023 年) 11月

中野区教育委員会事務局子ども教育施設課

目次

第1章 第七中学校新校舎等の整備について	
1-1 新校舎整備のスケジュール.....	1
1-2 学級数の推移想定.....	2
第2章 計画地周辺と既存校舎に関する状況	
2-1 敷地の現状.....	3
2-2 建築条件等.....	5
第3章 新校舎等整備の基本的な考え方	
3-1 新校舎等整備にあたっての基本計画等.....	6
3-2 新校舎等の整備にあたっての基本方針.....	8
3-3 新校舎等の整備にあたっての具体的事項.....	8
第4章 全体施設計画	
4-1 施設規模の整理.....	10
4-2 各種計画.....	12
4-3 配置計画.....	14
4-4 平面・断面計画.....	15
第5章 今後の留意事項	
5-1 配置計画について.....	19
5-2 平面計画について.....	19
5-3 構造計画について.....	19
5-4 設備計画について.....	20
5-5 環境計画について.....	20

第1章 第七中学校新校舎等の整備について

1-1 新校舎整備のスケジュール

第七中学校は「中野区立小中学校施設整備計画(改定版)」等に基づき、令和小学校跡施設(旧上高田小学校)(以下、旧上高田小学校という。)を工事期間中の代替校舎として使用し、現在と同じ敷地に新校舎を整備する計画としている。

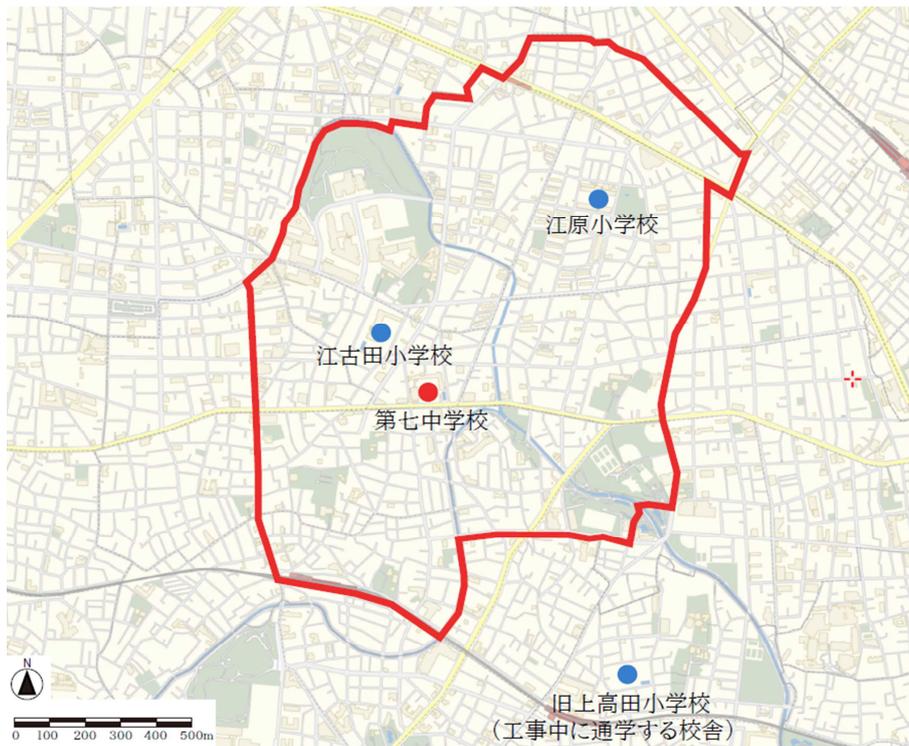
第七中学校新校舎等の整備スケジュールは以下のとおりである。

■新校舎等の整備スケジュール(想定)

2023年度 (令和5年度)	2024年度 (令和6年度)	2025年度 (令和7年度)	2026年度 (令和8年度)	2027年度 (令和9年度)	2028年度 (令和10年度)	2029年度 (令和11年度)
← 現在の校舎に通学 →			← 旧上高田小学校の校舎に通学 →			→ 新校舎に通学
基本構想 基本計画	基本設計・実施設計		改築整備			● 新校舎 供用開始

※今後スケジュールの変更が生じる可能性がある。

■第七中学校の通学区域



※赤色ラインは第七中学校の学区を示す。

1-2 学級数の推移想定

新校舎の供用開始を予定している2029年度の学級数は11学級になると推計している。区では子育て支援を推進しており、今後生徒の増加も想定されることから、新校舎においては、全学年4学級に加えて普通教室と同様の設えの学習室を整備する。生徒数が増えた場合には学習室を普通教室へ転用し、各学年5学級に対応できるよう整備する。

■第七中学校の生徒数及び学級数の推計表

年度	2024年度 (令和6年度)		2025年度 (令和7年度)		2026年度 (令和8年度)		2027年度 (令和9年度)		2028年度 (令和10年度)		2029年度 (令和11年度)	
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
1	109	4	131	4	117	4	108	4	128	4	124	4
2	111	3	111	3	133	4	119	3	110	3	130	4
3	119	3	113	3	113	3	136	4	121	4	112	3
計	339	10	355	10	363	11	363	11	359	11	366	11

※第1学年は35人学級、第2、第3学年は40人学級編成基準に基づく。

(参考)現在の第七中学校の生徒数及び学級数

年度	2023年5月	
	生徒数	学級数
1	109	3
2	117	3
3	99	3
計	325	9

第2章 計画地周辺と既存校舎に関する状況

2-1 敷地の現状

①西側道路(給食門前)

②西側道路(正門前)

③西側道路(屋内運動場前)

④南側道路

